

「シンプル」思考が人生を変える

「人生は非常に複雑だ」「人生はそれほど簡単では無いよ」歳を重ねるにつれ、このような発言をよく耳にする。しかし、私自身、人生で起きた様々な出来事をシンプルに考えることで道が開けた経験は数知れずある。今回はシンプルに考え、行動することの効果を話してみたい。

給

料袋に夢を合わせる人と、夢に給料袋を合わせていこうとする人に分かれ。二十歳の頃に教わり、私は後者の人生を選択した。今の自分に満足するのではなく、自分を高め、能力を磨き、実力をつけて、高給取りになるんだと、自分の器を広げることを目指した。友人から儲かるビジネスの誘いもあったが、私は今の職場で勝ち上ると一蹴した。決して自慢できるほどの良い職場環境ではなかつたが「これもご縁だ」と思い、目の前の仕事に集中した。何かを得るには何かを断つことだ。趣味のビリヤードやスノーボードをやめて、大好きな音楽やファッショニに時間とお金を費やすのもやめて仕事バカになつた。頭のなかをシンプルにしたのだ。

物

とは言え、数年が経つと次第に会社への不満が出てきた。商品のこと、運営方法、職場の体質など、改善できる点はいくらでも見えた。そこで私はどうしたかというと、「何も言わない」という作戦をとつた。仕事で成果を上げ、上司から意見を求められるのを待つことにした。一般社員があれこ

れと言つたところで実績がともなつていなければ説得力なんて無いと思つたからだ。

チャンスは思ったより早く来た。筆頭主任になつた私は、実際に多くの意見を求められるようになつた。そして課長から部長へと引き上げてもらつた。入社十一年目のことだつた。そこからは、面白いように自分の意見が採用された。入社当時から改善したいと思っていたことが次々に実現していく。

自分を磨き、上司の期待に応えて戦つた十年間が実つたのだ。

そして独立し、念願の社長になるという夢が叶つた。

た状態になり、良い判断・決断ができるのだ。常に一杯一杯な状態でなく、余裕を作りながらやっていけば、急を要する事態が発生しても落ち着いて対応できる。

事業の戦略も非常にシンプルで「周りのために働く」「結果はついてくる」という考え方だ。少しだけ披露すると、就活支援「プレミアムスタイル」は次のとおりだ。

一・学生の最高の味方であれ。就職先が決まるまで支援せよ。

二・取引企業を新入社員の力で活性化せよ。

三・教授やキャリアセンターを支援せよ。

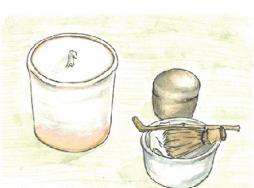
四・進路を確定させ、ご両親を安心させよ。

宣伝も必要だが本物のサービスを提供す

れば、必ず世の中に広がるという信念で全社員一丸となつて邁進している。

青森が生んだ版画の巨匠棟方志功は「三万六千五百朝」と言つた。何事も無限に続くことはない。その限られた時間とお金と体力を何に注ぎ込んでいくのか。

「シンプル」思考が、皆さん的人生を軽やかにし、良い方向へ向かえばこれほど嬉しいことはない。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 Isao Murodate 室館 勲

1971年青森県に生まれる。2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。2007年ブータン王国立マネジメント大学にて講演。就活支援「プレミアムスタイル」は2015年4月入社の内定率98.37%を達成。著書に『夢を見て夢を叶えて夢になる』(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、『仕事で結果を出す人の頭の中』(しののめ出版)がある。

*たとえ100年生きても、朝は36500回しか迎えられない。人生には限りがあるという意味